

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回 所沢市総合計画審議会
開 催 日 時	令和6年2月26日（月曜日） 午後2時00分～午後3時45分
開 催 場 所	市役所高層棟6階 604会議室
出 席 者 の 氏 名	（会議録別表1）のとおり ※出席者17名
欠 席 者 の 氏 名	（会議録別表1）のとおり ※欠席者4名
説明者の職・氏名	経営企画課 副主幹 吉川 康俊 経営企画課 主任 星野 啓
議 題	議事 （1）第6次所沢市総合計画後期基本計画素案（概要、まちづくりの目標） （2）第6次所沢市総合計画後期基本計画素案（リーディングプロジェクト） （3）パブリックコメント手続について （4）その他
会 議 資 料	<p>《配付資料》</p> <p>[会議資料]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回所沢市総合計画審議会 次第 ・ 資料1 所沢市総合計画審議会 委員名簿 ・ 資料2 計画策定スケジュール ・ 資料3 第4回所沢市総合計画審議会 会議資料 ・ 資料4 第6次所沢市総合計画後期基本計画素案 ・ 当日資料 所沢市における中核市移行に向けた検討状況
担 当 部 課 名	経営企画課：小池課長、松本主幹、吉川副主幹、都築主査、 岩田主査、古屋主任、星野主任、 大江会計年度任用職員 (事務局) 経営企画部 経営企画課 電話 04-2998-9027

(会議録別表1)

所沢市総合計画審議会 委員名簿

会 長 野澤 千絵

副会長 鹿島 正之助

	委員の区分	氏名	出欠
1	行政委員会の委員	宮本 陽子	出席
2	行政委員会の委員	田中 宏	出席
3	公共的団体等の代表者	鹿島 正之助	出席
4	公共的団体等の代表者	赤津 拓彦	出席
5	公共的団体等の代表者	三上 誠	出席
6	公共的団体等の代表者	梅本 晶絵	出席
7	公共的団体等の代表者	齋藤 千里	欠席
8	公共的団体等の代表者	田中 成憲	出席
9	公共的団体等の代表者	田畑 大介	欠席
10	公共的団体等の代表者	新居 亨一	出席
11	関係行政機関の職員	平野 健一	出席
12	知識経験者	野澤 千絵	出席
13	知識経験者	藤本 浩志	出席
14	知識経験者	加賀谷 崇文	出席
15	知識経験者	鞍掛 純一	出席
16	市民その他の市長が必要と認めた者	岩永 啓一	欠席
17	市民その他の市長が必要と認めた者	金田 龍二	出席
18	市民その他の市長が必要と認めた者	河野 和子	出席
19	市民その他の市長が必要と認めた者	下山 愛	欠席
20	市民その他の市長が必要と認めた者	相沢 郁美	出席
21	市民その他の市長が必要と認めた者	山藤 雅史	出席

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>～ 開 会 ～</p> <p>■ 会長あいさつ</p>
<p>会 長</p> <p>委 員</p>	<p>■ 議事（1）第6次所沢市総合計画後期基本計画素案（概要、まちづくりの目標）</p> <p>～事務局より、第6次所沢市総合計画後期基本計画素案（概要、まちづくりの目標）について資料に基づき説明～</p> <p>議事（1）についてご意見・質問があれば伺いたい。</p> <p>2点意見を挙げさせていただければと思う。</p> <p>まず1点目として、「2-1こども支援センター（子育て支援）の利用者満足度」「2-2こども支援センター（発達支援）の利用者満足度」が100%というのは現実的に達成することができる数値なのか。他の評価指標では「現状値以上」という目標設定があるので、「現状値以上」という目標を掲げるといっていいのかなと思う。また、本指標では、こども支援センターを利用している人の満足度になっているが、子育て支援センターを知らない人たちが多いため、困っているが何もできず孤立している人が問題という側面もある。このため、こども支援センターの利用者数についても指標を併せて設定してもよいのではないかなと思う。</p> <p>次に2点目として、令和5年10月に市長が代わったが、新市長から本計画について内容の変更の指示があったり、または今後、指示がある可能性はあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>1点目のご質問については、今いただいた意見を踏まえて、所管部署にも改めて確認を行い、検討する。</p> <p>2点目については、この後の議題でも説明させていただくが、方向性・方針としては、こども政策、子育て支援については力を入れていきたいという市長の意向がある。今後、具体的な施策の内容において必要な事項については本計画への記載や政策立案の検討をしていく考えである。</p>

会 長	ほかにあれば挙手願いたい。
委 員	<p>「1-4 老人福祉センター・老人憩いの家を利用する活動的な高齢者数」の目標値について、現状値からすると令和10年度にはプラス8万人になるが、施設自体は増えないと思うので過密状態にならないかということを知りたい。恐らく検討された上で24万人にしたと思うが少し気になった。</p>
事務局	<p>当該数値については施設の容量を考慮したうえで算出しており、24万人になっても過密状態になることはないのご理解いただきたい。</p>
委 員	<p>「6-5 経常収支比率（水道事業会計）」の現状値が106%で令和10年度の目標が100%以上となっている。収益の目標値というのは106%とか108%とかにした方が経営的には良いのではないかと。現状値も良い数値と思うがさらに令和10年度の目標値を変えた方がよろしいかと思う。</p> <p>また「7-3 何事も自分事として考え、新たなことに挑戦する職員の割合」について、令和10年度の目標値が60%となっている。会社経営者の立場からすると、2:6:2の法則があり、2割は経営者層の考えに近く意欲的に働く人、6割が普通に働く人、2割があまり意欲的に働かない人という考え方がある。この法則に当てはめると、60%という目標値は、残りの4割が適当にやっていると対外的に思われてしまうリスクがあるので、目標値は80%ぐらいに変えた方がよろしいのではないかとアドバイスをさせていただく。</p> <p>また「6-3 道路に関する施策の満足度」について、経済界では今、道路の状態によって経済の損失が出ると言われている。令和10年度の目標値が現状値以上となっていると、所沢駅西口の道路環境の問題が一向に解決しないで終わってしまうのかと不安になる。その点をもう少し庁内で話し合っていたきたい。</p>
事務局	<p>6-5については、上下水道局に確認して検討したい。</p> <p>7-3については、現状値が52.1%というところもあるので、この現状の数値を踏まえて検討したい。</p> <p>6-3については、「道路に関する施策の満足度」という市民意識調査により補足する数値目標であり、施策を実行することによって直接的にまたは劇的に数値が大きく改善することが難しい側面もある。しかしながら、委員からいただいた貴重な意見でもあるので、所管部署にも再度確認したい。</p>

委員	<p>各々の数字はどこを拾ってきているのか。個別の項目をここで問うつもりはないが、問われたときに答えることができるのか。</p>
事務局	<p>各節における評価指標の設定においては、各部署間で設定する際に何故この目標値とするのか、どのような数値を採用するのかを整理したうえで評価指標を設定するよう求めているところであるため、答えることは可能である。</p>
委員	<p>「1-3 障害福祉サービスの利用率」について、目標値が現状値より低いのは理由があるのか。現状維持といった設定でも良いのではないか。</p>
事務局	<p>理由の一つとして、障害福祉サービスを支給決定するサービスの中に短期入所があり、近年、障害者の保護者等の緊急時に備え、定常的な利用がない場合でも、支給決定をすることがあり、こうしたものが障害福祉サービス利用率の低下要因として考えられる。このため、前期基本計画で掲げた目標値85%を継続して後期基本計画でも掲げている。</p> <p>しかしながら、令和元年度から令和4年度にかけて障害福祉サービス利用率は右肩上がりの状況ではあるので、改めて所管部署に確認して検討する。</p>
会長	<p>「1-6 消防団員の確保」について、目標として消防団員の数を増やしたいとあるが、基本方針に消防団員確保の取組の方針等の記載がないため追記した方がよいのではないか。</p>
事務局	<p>指摘のとおり、基本方針に記載がないため、加筆して対応する。</p>
会長	<p>「6-3 道路に関する施策の満足度」「6-4 交通政策に関する満足度」について、一般的には道路と交通はセットで考えられていることが多い。道路を整備するというのも大切だが、むしろ車を使わなくても生活ができるまちにしていくとか、モビリティのいろんなサービスをより充実して、歩いて暮らせるまちを作っていくことで車の混雑率を減らしていくとか、あるいは物流系の車がなるべく市内に入らないような方法を考えるといったこともできる。</p> <p>これは今後の課題というところで加筆等を検討いただければと思うが、例えば、モビリティの様々な新しい取り組みを通じて、車の利用率を低下していくなど。こうした考え方が日本や世界でも浸透していくと思われるので検討してみてはどうかと思った。</p> <p>次に、評価指標で採用している数値の出典、何のデータを使用しているかについては記載しておくべきだと思う。</p>

事務局	ご意見について対応を検討する。
委員	<p>消防団員の確保の指標について話があったが、この指標は地域防災体制の強化を図る指標として設定していることから、第1章第6節危機管理・防災を測る指標としては支障ないという認識もできると思う。</p> <p>「7-3何事も自分事として考え、新たなことに挑戦する割合」だが、職員アンケートの結果を数値としているが、「挑戦する」と回答した職員が実際に挑戦したかについて検証しているのか。民間企業の場合は、第三者が定量的に評価を行うが、いかがか。</p>
事務局	<p>消防団員の確保については、基本方針において消防団員の資質向上の記載はあるが、団員数に関する言及がないため、追記する方向で考える。</p> <p>アンケート結果の追跡調査は実施していないが、本指標のアンケートは匿名であり、職員個人の意識を問うものと考えている。誤解のないように申し上げるが、職員の勤務状況の評価については、人事評価という制度において管理職により個別の職員に対する評価を行っているため、決して職員の勤務状況等について検証をしていないということではない。</p>
会長	<p>ほかになれば議事（2）について事務局より説明をお願いしたい。</p> <p>■議事（2）第6次所沢市総合計画後期基本計画素案（リーディングプロジェクト）</p> <p>～事務局より、第6次所沢市総合計画後期基本計画素案（リーディングプロジェクト）、中核市移行に向けた検討の現在の状況について資料に基づき説明～</p>
会長	議事（2）についてご意見等があれば挙手願いたい。
委員	リーディングプロジェクトの「子どもを中心としたまちづくり」これは大切だと思うが、「子どもを中心とした」という表現は、こども以外は切り捨てなのかという誤解を与えかねないのではないか。

事務局	<p>名称等の文言は再考の余地があると考え。誤解を招かないようにしたい。</p>
副会長	<p>中核市移行のメリットは、中核市でなくてもやっていくべきことだったのではないか。川越市、越谷市、狭山市、入間市なども中核市へ移行しているのか。</p>
事務局	<p>中核市の指定を受けなければならないことがある。中核市に移行することで権限を埼玉県から委譲されて実施していくということかと考える。</p> <p>入間市や狭山市は人口の条件が満たされず、中核市になりたくてもなれない。埼玉県の西部地域において所沢市が中核市となっていくということを検討している。</p>
委員	<p>中核市に移行するメリットを具体的に知りたい。</p>
事務局	<p>市民サービスの観点からは、例えば、これまで障害者手帳が申請から交付まで2ヵ月程かかっていたところが約半分の期間で交付できるようになるということが考えられる。そのほか、詳細なメリット等については内部で検討していく。</p> <p>他市の事例でメリットとして挙げられていることとして、福祉施設等へ直接指導や監督ができるようになるため、地域にあった福祉サービス等の提供ができるようになるという報告もある。</p>
委員	<p>中核市に移行することで、直接的に市民のサービス向上につながるということが、市民には中々イメージが掴みづらいところではあると思うので、今後、検討を進め、市民にも理解されやすいように説明していく必要があると思う。</p>
委員	<p>中核市移行による業務の多くは保健所業務であるので、民生分野でのメリットはあるのかなと思う。当麻市長時代に中核市移行の検討をされていたと思うが、過去の経緯はどのようなものか教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>当時、所沢市は地方交付税の不交付団体であったこと、また、特例市制度に基づく特例市であったことから中核市移行のメリットがあまり大きくなく、これまで積極的に中核市移行を進めてきていないという経緯がある。</p> <p>一方、現在の所沢市は交付団体になっているため、中核市に移行するとある程度の財源は確保できる見込みがあるため、検討を進める理由の1つになるものと考えている。</p>

委員	<p>所沢市に保健所を作ってほしいということを医師会として県に陳情に行ったことがある。県には元より所沢市で保健所を設置して欲しいという意見があり、県は全面的にバックアップするという話を聞いた。その一方で、埼玉県としては人材が足りない点が気になっているようであった。中核市である越谷市の場合は、保健所の職員のかなりの部分が県からの出向で成り立っている。年数経過に応じて出向職員数を減らし、現在は市の職員で対応できるようになってきている。所沢市の場合も多分そのように協力してもらえないかと思う。職員全員を市で確保しなくてはいけないなどということはないと思うので、市民に説明をするにあたってはその点をぜひご留意いただきたい。</p>
事務局	<p>そうしたことも含めて、検討していきたい。</p>
委員	<p>中核市移行に向けた検討で、大きなところが保健所の設置ということだと思うが、ほかにも教育や様々な分野にも関わってくることもあると思う。項目だけでも構わないので、こういった分野に事務が移譲されるのか、また職員の確保が必要なのか等を教えてほしい。</p>
事務局	<p>保健所の業務が大きいところだが、ほかには廃棄物処理業者に関する事務、県の教職員の研修等がある。</p>
委員	<p>市内小中学校の教職員数は多くいるため、そうしたことも含めて慎重に検討していただきたいと思う。</p>
委員	<p>中核市移行に向けた検討というが、検討した結果、やはり移行しないということもあり得るのか。</p>
事務局	<p>中核市移行を見据えて準備を進めていくことが基本路線ではあるが、利点や課題等を精査できていないので、これらを整理した上で正式な方向性を示していくということだと認識している。</p>
委員	<p>市民サービスの充実や行政サービスの充実という言葉は上から目線のような印象を受ける。また課題にある財政的な負担というのは、市民の税負担につながるのか。</p>

事務局	<p>中核市に移行しても住民税が上がることはない。一方で、市の財源は限られているので、財源確保のために様々な事業を改廃して、財源を生み出すということをしていく必要があるものと認識している。このため、事業改廃によってマイナスの影響を受ける方もでてくるかもしれないが、そうした影響度を抑えながら進めていくということが我々の仕事であると認識している。</p>
委員	<p>具体的に中核市移行の時間はわかるか。</p>
事務局	<p>現状としては何年と言えるところまでは調査できていない状況である。 新しい市長が昨年10月30日に就任してようやく体制ができ、次のステップに踏み出そうとしている。これから具体的な課題を抽出して、その後どれだけ時間がかかるのかを検討していかなければならないと考えている。</p>
委員	<p>中核市移行に際して、最終的に全市民が意見を言う機会はあるのか。</p>
事務局	<p>市民の代表である議会の承認が必要になるので、そうした意味では市民の皆様の声を聞くことができると思っている。</p>
委員	<p>中核市に移行することは大事な経営判断だと思う。これまで話していた課題もあるし、費用もかかる。それをお金ということではなく、どういったサービスで回収できるのかということを一一般の市民の方にもわかりやすく説明されると、より議論が進みやすいと思う。</p>
会長	<p>34万人の人口がありながら中核市ではなかったことに驚いている。やはり権限があるということは、それだけ自分たちにフィットしたまちづくりの可能性は広がる。同時に当然職員の確保が必要になってくるので、行政のDX化のようなことをもっと進めていって、中核市移行後の必要な人材に充てていくようにするなど総合的な検討が必要と思う。</p> <p>市の将来を見据えたときに、都市の品格という点を考えても、中核市に移行するというのにはイメージとして良いというのは理解できる。また、自主的に様々なことがよりやりやすくなるので、職員の方が大変になるという側面はあると思うが、検討されるというのはいいことではないかと思う。</p> <p>委員のみなさまに確認だが、この審議会の議論として、中核市の移行について、当該部分に記載するというものについて問題視する方や、反対のご意見があるという方はいらっしゃるという理解でよろしいか。</p>

委員全員	一同異議なし。
委員	<p>市の支援を受けて、三ヶ島工業団地周辺の工業用団地が今までの約6倍に広がるという動きがある。我々事業者が生産活動をする事で、市の税収も増加することになる。こういった財源がないと、市のサービスを良くしていくことが難しいという側面もある。</p> <p>我々事業者も市民のみなさまと所沢市を良くしていきたいと考えており、所沢市には三ヶ島工業団地周辺のように生産活動をする事で結果として市の財政状況が良くなるような動きもあることを、審議会委員のみなさまの心に留めていただけると嬉しく思う。</p>
委員	<p>保健所の業務は多岐に渡る。中核市移行により医療機関の許認可や監査等の権限が委譲されるため、より適正な地域医療が提供できるようになると思う。</p>
委員	<p>飲食店経営者からも早く保健所ができると嬉しいという話を聞いたことがある。</p>
事務局	<p>食品衛生業務も移譲されるため、適正な業務が執行できるよう準備を進めていきたい。</p>
委員	<p>リーディングプロジェクトについて、「子どもを中心としたまちづくり」を重点プロジェクトとして掲げるということだが、その理由を教えてください。前期基本計画のリーディングプロジェクトの記載から大きな変更が見られないので気になった。また、他委員からも指摘があったが、「子どもを中心としたまちづくり」という表現に違和感がある。</p>
事務局	<p>「子どもを中心としたまちづくり」の言葉については庁内でも意見が多く出ているところではあるので検討したい。</p> <p>「子どもを中心としたまちづくり」を重点プロジェクトに設定した理由については、市長の思いが強く反映された部分である。しかしながら、市長が変わってからの期間が短いということもあり、そうした思いの部分などを記載に落とし込めてない。今後の計画策定の過程においてその詳細を詰めていきたい。</p>
委員	<p>先ほどから何度も市長が変わったことによりということ伺っているが、また市長が変わったら総合計画も変わってくるのか。</p>

委員	総合計画は市長選も考慮して計画期間を設定しているため、市長が変わると というようなことがあればその方向性は変わってくるものと認識している。
委員	ほかになれば事務局より議事（３）について説明をお願いします。
委員	■議事（３）パブリックコメント手続について
事務局	～事務局より、パブリックコメント手続について資料に基づき説明～
会長	議事（３）についてご意見等があれば挙手願いたい。
委員	パブリックコメントは、市民の意見を聞く大切な機会だと思う。ぜひ様々な 手法を用いて、市民のみなさまにお知らせできるようにしていただきたい。
事務局	パブリックコメント期間に市民説明会を行うほか、新たに動画によるPRも 取り組むなどして、啓発していきたい。
委員	パブリックコメントは、本当に市民感覚を知る大事な機会だと思う。障害の ある方が市内にはたくさんいらっしゃるの、市民説明会が開かれる際には、 ぜひ多くの方が情報にアクセスできるように配慮をお願いしたい。
会長	ほかになれば、議事（４）その他について事務局より説明をお願いしたい。
	■議事（４）その他
	～事務局より、次回会議の開催予定、今後の手順等について説明～
会長	議事（４）についてご意見・ご質問がないようなので、本日の議事はすべ て終了し、進行を事務局にお返りする。
事務局	ご熱心な審議を賜り感謝申し上げます。本日いただいたご意見を踏まえ、基本 計画案の作成作業を進めていく。事務局からの説明どおり、次回の開催が5月 から6月頃なので、もし不都合が生じた場合は個別に対応させていただきたい。 以上をもって、第4回所沢市総合計画審議会を閉会する。
	～閉 会～